



# Sun Enterprise™ 420R Server 設定とラックマウントの手引き

---

サン・マイクロシステムズ株式会社  
東京都世田谷区用賀4丁目10番1号  
SBSタワー 〒158-8633

Part No. 816-1102-10  
Revision A, 2001年5月

Copyright 2001 Sun Microsystems, Inc., 901 San Antonio Road, Palo Alto, CA 94303-4900 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている **Berkeley BSD** システムに基づいていることがあります。UNIX は、**X/Open Company Limited** が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

**Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.**

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる **HG 明朝 L** と **HG ゴシック B** は、株式会社リコーがリョーベイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 **W3** は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、**HG 明朝 L** と **HG ゴシック B** の補助漢字部分は、平成明朝体 **W3** の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

**Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com** は、米国およびその他の国における米国 **Sun Microsystems, Inc.** (以下、米国 **Sun Microsystems** 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サン・ロゴマークおよび **Solaris** は、米国 **Sun Microsystems** 社の登録商標です。

すべての **SPARC** 商標は、米国 **SPARC International, Inc.** のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。**SPARC** 商標が付いた製品は、米国 **Sun Microsystems** 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

**Java** およびその他の **Java** を含む商標は、米国 **Sun Microsystems** 社の商標であり、同社の **Java** ブランドの技術を使用した製品を指します。

**OPENLOOK, OpenBoot, JLE** は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

**ATOK** は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。**ATOK8** は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、**ATOK8** にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。**ATOK Server/ATOK12** は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、**ATOK Server/ATOK12** にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

**Netscape, Navigator** は、米国 **Netscape Communications Corporation** の商標です。**Netscape Communicator** については、以下をご覧ください。Copyright 1995 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

**OPEN LOOK** および **Sun Graphical User Interface** は、米国 **Sun Microsystems** 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 **Sun Microsystems** 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 **Xerox** 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 **Sun Microsystems** 社は米国 **Xerox** 社から **Xerox Graphical User Interface** の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 **Sun Microsystems** 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典： *Sun Enterprise 420R Server Setup and Rackmounting Guide*  
Part No: 816-1096-10  
Revision A



# 目次

---

1. 準備作業 1
  - 設置手順の概要 2
  - システムの開梱 2
  - 梱包内容の確認 3
  
2. ラックへの取り付け 7
  - 取り付けに必要な工具 7
  - 作業前の注意事項 8
  - 設置作業の安全対策 8
  - ラック格納装置の準備 9
  - スライド部品への取り付け金具の設置 10
  - ラック格納装置へのスライド部品の設置 13
  - ラック格納装置へのサーバーの設置 17
  - 次の作業 20
  
3. システムの設定 21
  - 電源コードの接続 22
  - Ethernet ケーブルの接続 25
  - オプションの設置 26
  - システムコンソールの設置 26

ラック格納装置の復元	29
システムの電源投入	30
オペレーティングシステムのインストール	33
オンラインマニュアルの参照	33
A. ラック格納装置の必要条件	35

# 第1章

## 準備作業

---

このマニュアルでは、Sun Enterprise™ 420R ワークグループサーバーを Sun の拡張キャビネット、または EIA 標準のラック格納装置に設置する方法を解説しています。

このマニュアルの概要は、以下の通りです。

- 設置手順の概要 — 2 ページ
  - システムの開梱 — 2 ページ
  - 梱包内容の確認 — 3 ページ
- ラックへの取り付け — 7 ページ
  - 取り付けに必要な工具 — 7 ページ
  - 設置作業の安全対策 — 8 ページ
  - ラック格納装置の準備 — 9 ページ
  - スライド部品への取り付け金具の設置 — 10 ページ
  - ラック格納装置へのスライド部品の設置 — 13 ページ
  - ラック格納装置へのサーバーの設置 — 17 ページ
- システムの設定 — 21 ページ
  - 電源コードの接続 — 22 ページ
  - Ethernet ケーブルの接続 — 25 ページ
  - オプションの設置 — 26 ページ
  - システムコンソールの設置 — 26 ページ
  - ラック格納装置の復元 — 29 ページ
  - システムの電源投入 — 30 ページ
  - オペレーティングシステムのインストール — 33 ページ

- オンラインマニュアルの参照 — 33 ページ
- ラック格納装置の必要条件 — 35 ページ

---

## 設置手順の概要

Sun Enterprise サーバーの設置には、次の作業が必要です。以下の手順を守り、正しく設置してください。

- システムを開梱して、正しい内容物が入っていることを確認します。第 1 章を参照してください。
- サーバーをラックマウントします。第 2 章を参照してください。
- サーバーの設定と電源投入の後、オペレーティングシステムをインストールします。第 3 章を参照してください。

---

## システムの開梱

システムは、本体に内蔵するタイプのオプションをほぼすべてインストールした状態で出荷しています。外付けの周辺機器に関しては本体から取り外した状態で出荷しているため、ユーザー自身で取り付ける必要があります。開梱方法は、出荷用の段ボール箱の外側に印刷してあるので、この指示に従ってください。

出荷用の箱に物理的な損傷がないかチェックしてください。損傷があった場合は、運送代理店に連絡し、代理店の立ち会いのもとで開梱してください。梱包箱などを含むすべての内容物はそのまま保管し、代理店による適正な検査を受けられる状態にしておいてください。

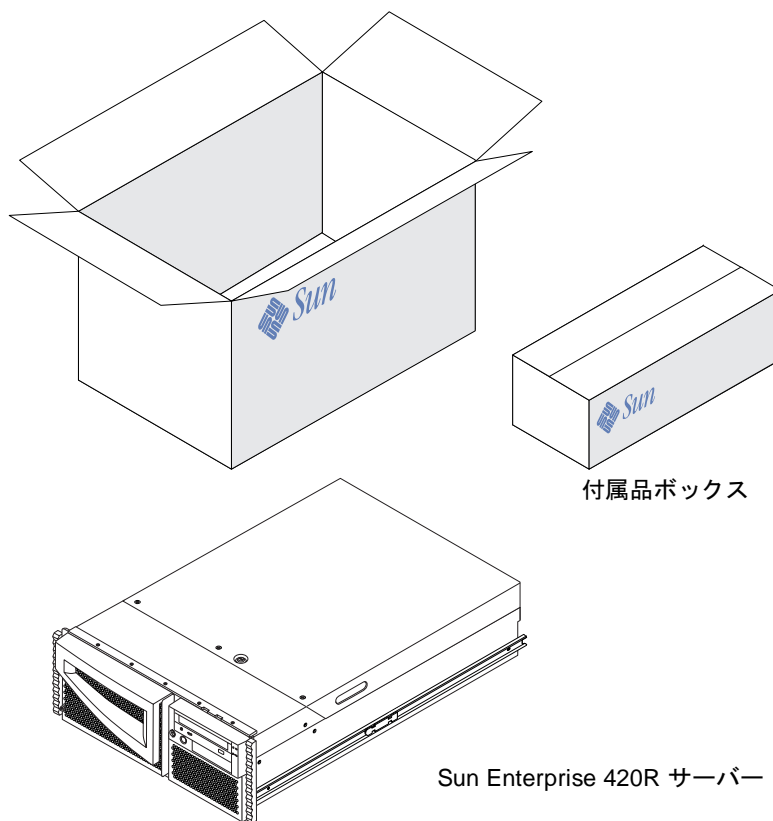
発注したすべての内容が含まれていることを確認してください。内容に不備があった場合は、購入先にお問い合わせください。

---

## 梱包内容の確認

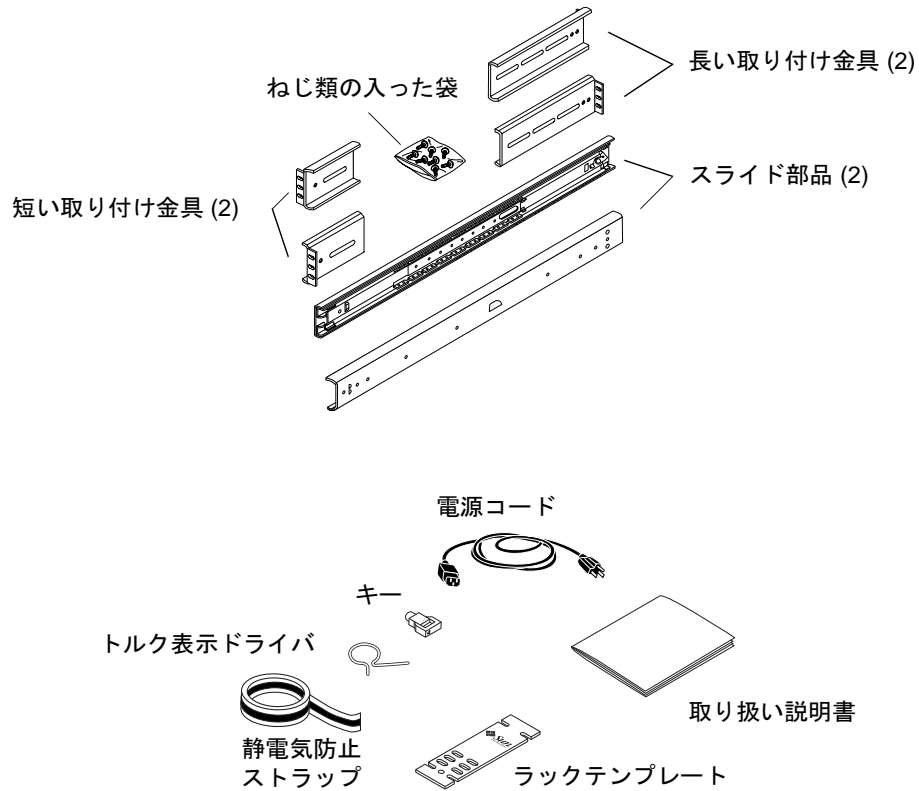
出荷箱の中には、次の内容が梱包されています。

- Sun Enterprise 420R ワークグループサーバー
- 付属品ボックス



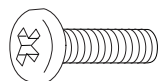
## 付属品ボックスの内容

付属品ボックスには、次の部品が梱包されています。





付属品ボックスには、ねじ、ナット、ワッシャーなどの部品の入ったビニール袋が 1 つ含まれています。以下の図に部品のサイズを実寸で示します。ラックマウント用の金具やスライド部品の取り付けの際に、これらの部品を使用します。



10-32 × 3/4  
ねじ (8)



8-32 × 3/8  
ねじ (8)



平ワッシャー  
(8)



ロック  
ワッシャー (8)



ナット (8)

---

注 - スレッドを使用しないラック格納装置の場合は、取り付けにバーナットが必要になります (このシステムには付属していません)。詳細については各ラック格納装置に付属のマニュアルを参照してください。Sun 製のラック格納装置では、バーナットは使用しません。

---



## 第2章

# ラックへの取り付け

---

この章では Sun Enterprise 420R サーバーを Sun 拡張キャビネットまたは EIA 標準のラック格納装置に取り付ける手順を解説します。

Sun Enterprise 420R サーバーのラックマウントの際には、以下の手順に従って適切に作業してください。

- 9 ページの「ラック格納装置の準備」
- 10 ページの「スライド部品への取り付け金具の設置」
- 13 ページの「ラック格納装置へのスライド部品の設置」
- 17 ページの「ラック格納装置へのサーバーの設置」

ラックマウントの手順については『Sun Enterprise 420R Server ラックマウントの概要』でもイラスト形式で解説しています。この章ではラックマウントの各手順の詳細を解説しています。

---

## 取り付けに必要な工具

- プラスのドライバ (Phillips の 2 番)
- マイナスのドライバ
- 六角レンチ一式 (ラック格納装置の側面パネルの取り外しに使用)
- モンキーレンチ (サイズ調整の可能なもの。固定金具のナットを締める時に使用)

---

## 作業前の注意事項

- システムを開梱して内容を確認します。梱包内容については第 1 章を参照してください。
- 付属品ボックスを開梱して、スライド部品、取り付け金具などのハードウェアを取り出し、見通しの良い場所に置きます。
- 梱包内容を調べ 4 ページの「付属品ボックスの内容」で示した部品がすべて含まれていることを確認します。
- このマニュアルの付録 A のラック格納装置の必要条件に関する解説を読みます。
- 次節の安全対策に関する解説を読みます。

---

## 設置作業の安全対策

Sun Enterprise 420R サーバーの設置作業時に必要となる安全対策についての詳細は『Sun Enterprise 420R Server オーナーマニュアル』を参照してください。



---

**注意** – システムをラック格納装置に設置する際には、可能な限り低い位置に取り付けてください。ラック格納装置の安定性を最良に保つためには、このシステムより重量の少ない装置よりも上に、システムを設置しないでください。

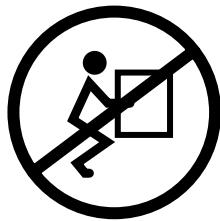
---



---

**注意** – システムの重量の関係上、システムの移動を伴う作業を安全に行うには人員が 2 名必要となります。また、ラックマウントの調整、ラックへのスライド部品の取り付けの際も、必ず 2 名で作業してください。

---





---

**注意** – システムの通気を適切な状態に保つため、ラック格納装置に設置されたシステム 1 台につき、気流の入口をシステム正面側に最低 **181 平方 cm (28 平方インチ)** 以上、排気口を背面側に最低 **148 平方 cm (23 平方インチ)** 以上、それぞれ確保しておく必要があります。また、システムと正面側および背面側のドアとの間は、それぞれ最低 **3.8 cm (1.5 インチ)** 空けておく必要があります。詳細は付録 A 付録 A を参照してください。

---

---

## ラック格納装置の準備

1. ラック格納装置の正面および背面のドアを開きます (可能であれば取り外します)。

詳細は各ラック装置に付属のマニュアルを参照してください。

2. 転倒防止脚を使用するか床にボルトで固定して、ラック格納装置を安定させます。

詳細は各ラック装置に付属のマニュアルを参照してください。

3. 可能であれば、ラック格納装置の側面パネルを取り外します。

詳細は各ラック装置に付属のマニュアルを参照してください。側面パネルの取り外しによりナットやねじへのアクセスが容易になり、システムのラック格納装置への取り付け作業の負担を軽減できます。

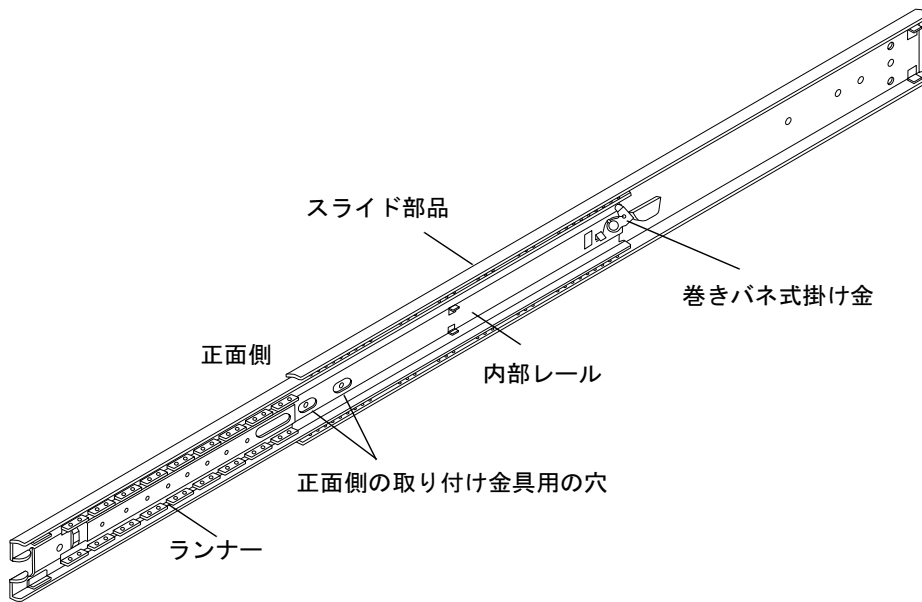
## スライド部品への取り付け金具の設置

取り付け金具の短いものと長いものの両方を、2本のスライド部品の外側の面にそれぞれ設置します。

以下の手順に従い、両方のスライド部品を組み立ててください。

1. 短い方の取り付け金具を、各スライド部品の正面側に取り付けます。
  - a. スライド部品を伸ばして、正面側取り付け金具用の穴を露出します。

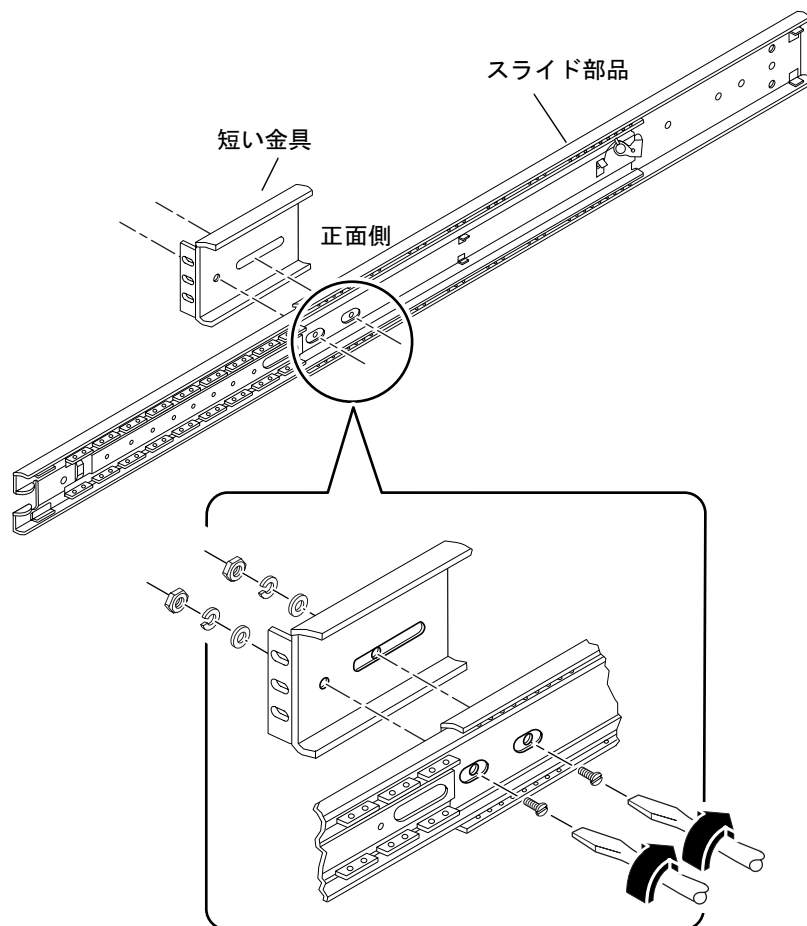
スライド部品を伸ばすには、内部レール上の巻きバネ式掛け金を外します。



- b. 短い取り付け金具をスライド部品の正面側の端に被せます。

下図のように、突起部のある方を正面方向にして短い金具を被せます。

- c. 8-32 なべ頭ねじを 2 本使用して、スライド部品に短い金具を固定します。ねじ 1 本につき平ワッシャー、ロックワッシャー、ナットを各 1 個ずつ使用します。



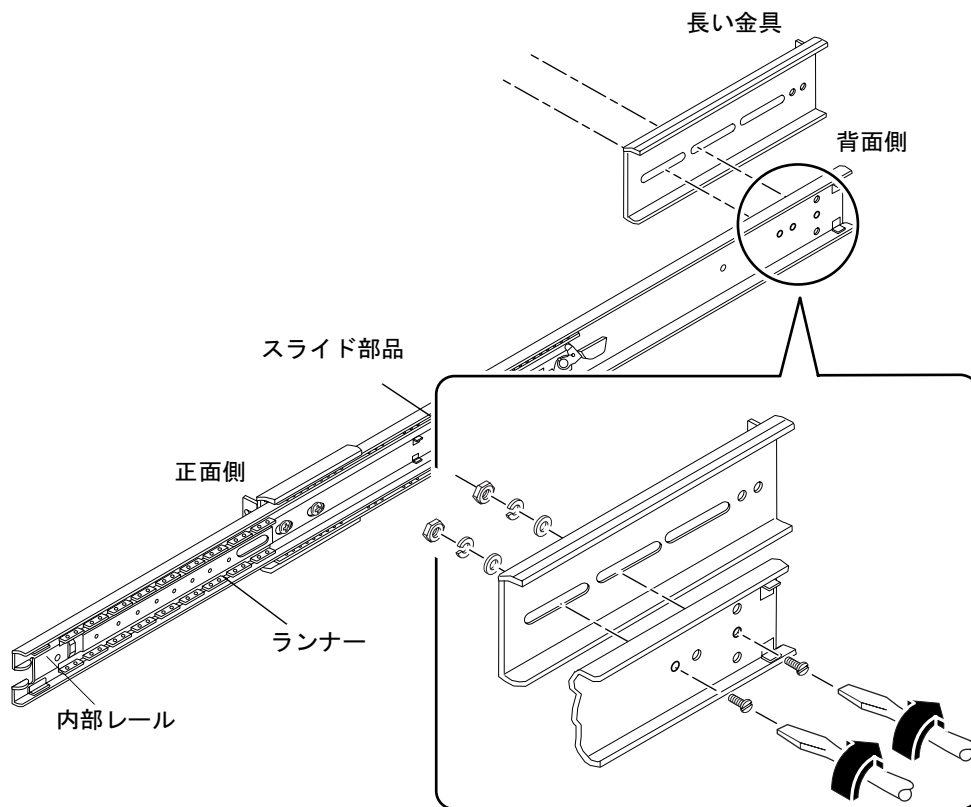
2. 長い方の取り付け金具を、各スライド部品の背面側に取り付けます。

a. 長い取り付け金具をスライド部品の背面側の端に被せます。

下図のように、長い金具のスロットをスライド部品背面側のねじ穴に合わせて被せます。

b. 8-32 なべ頭ネジ 2 本と、各ねじにそれぞれ平ワッシャー、ロックワッシャー、ナットを 1 個ずつ使用して、長い金具をスライド部品にゆるめに固定します。

このスライド部品をラック格納装置に設置する時点で調整が必要になるので、ねじはきつく締め付けしないでください。この調整が終わった後で、ねじを完全に締めます。



3. 各スライド部品の内部レールとランナーを押し込みます。

a. 内部レールをスライド部品の中に押し込みます。必要であれば、巻きバネ式掛け金を解除します。

b. ランナーを、止まるまで押し込みます。



---

## ラック格納装置へのスライド部品の設置

1. ラック格納装置の各取り付けレールに対し、スライド部品を取り付ける穴の位置を決め、印を付けます。

サーバー 1 台につき 4 U (4 ラックユニット、17.78 cm、7.0 インチ)、もしくは 12 穴分のスペースを占有します。標準的なラック格納装置の穴の間隔は 3 つごとに 5/8 インチ、5/8 インチ、4/8 インチで並んでおり、システムの設定の際に 4 本の取り付けレールのそれぞれの穴を使うべきかを正確に判断できるようになっています。

また、システムマニュアルに付属のラックテンプレートを使用して、各レール (正面側、背面側および左右方向) の同じ高さの穴を調べることもできます。ラック格納装置に、フェルトペンやマスキングテープなどで印を付けてください。

スライド部品は格納装置の可能な限り低い位置に設置してください。たとえば、まだ他の機器がまったくラックマウントされていない格納装置にシステムを設置する場合は、3 番目と 4 番目または 5 番目の穴を使用します。さらにシステムを追加する場合も、出来る限り下方から順に設置していきます。



ラックテンプレート

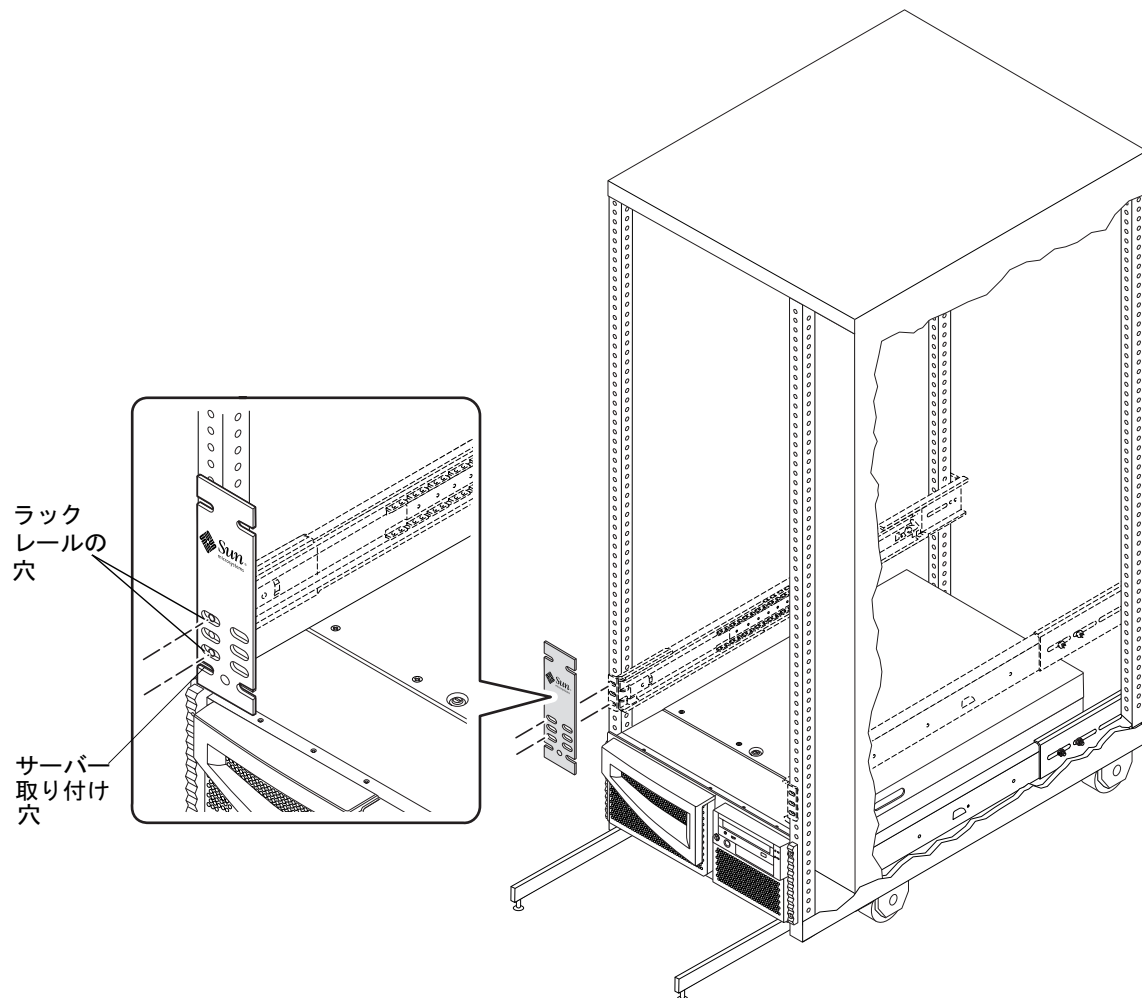
ラックテンプレートを使用する際には、以下の手順に従います。

- a. 左側の正面のラック取り付けレールに、ラックテンプレートを合わせます。後述の図を参照してください。
- b. ラックテンプレートの底を、取り付けレール上でシステムの底になる位置に、正確に合わせます。

c. ラックテンプレート下方の切れ込みの中央を、取り付けレール上のサーバー底面側の取り付けねじ穴の位置に合わせます。

d. ラックテンプレートの3個の穴を通して取り付けレールの穴を覗き、このうち最も穴の面積が多く見えるもの2個を選び、この2個に印を付けます。

スライド部品をラックレールに取り付ける際には、ここで印を付けた2個の穴を使用します。ラックテンプレートの穴は垂直方向に3個連続して開いていますが、実際にスライド部品の取り付けに使用する穴は2個だけです。前述のようにラックレールの穴はすべて等間隔で開いていないので、この対応上3個の穴が用意されています。右正面の取り付けレールにも同様にラックテンプレートを使い、左右両側で同じ高さの穴に印を付けます。

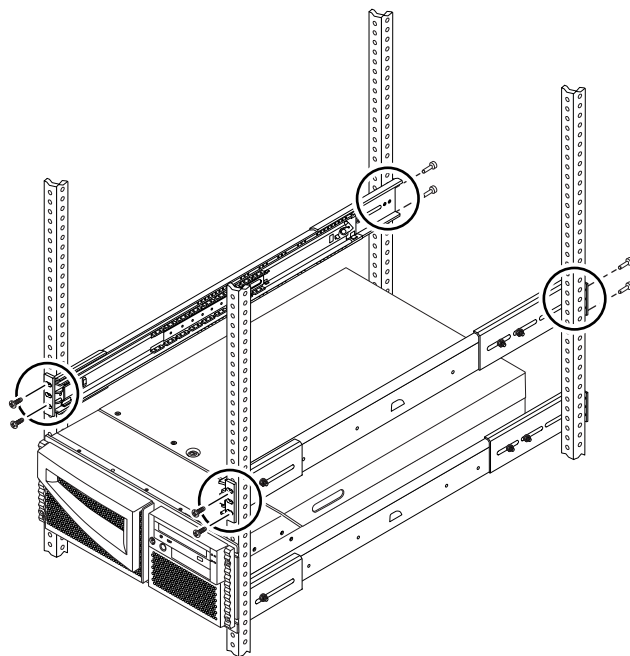


2. スライド部品を左右両側のラックマウントレールに 1 個ずつ、それぞれ取り付けます。後述の図を参照してください。
  - a. 補助用の人員を 1 名用いて、スライド部品をラック格納装置の内側に配置します。この時、短い取り付け金具がラック前方になるように配置します。

スライド部品の前後、および左右の対応するスライド部品は、必ず同じ高さに取り付けます。穴の数を数えるか、または手順 1 で示したようにラックテンプレートを使用して、高さを合わせてください。
  - b. ラック正面側のレールに短い方の金具を取り付けます。

手順 1 で印を付けた 2 個の穴に、**Phillips 10-32** 平ねじを使用して、スライド部品をまず正面側のレールに取り付けます。ねじは指で締めます。スライド部品全体の位置の調整が終わるまで、完全に締め付けてはいけません。
  - c. ラック背面側のレールに長い方の金具を取り付けます。

**Phillips 10-32** 平ねじを 2 本使用して、スライド部品を背面側のレールに取り付けます。ねじは指で締めます。スライド部品全体の位置の調整が終わるまで、完全に締め付けてはいけません。

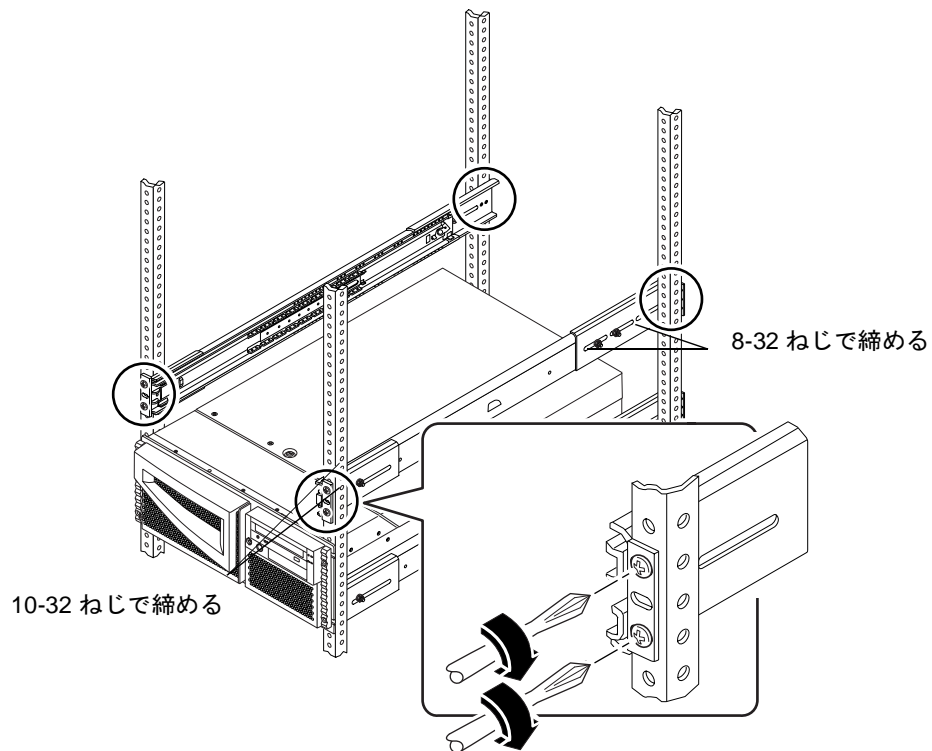


---

注 - 背面側の取り付け金具をスライド部品上で前後に動かして、ラックの奥行きに合わせて長さを調整してください。

---

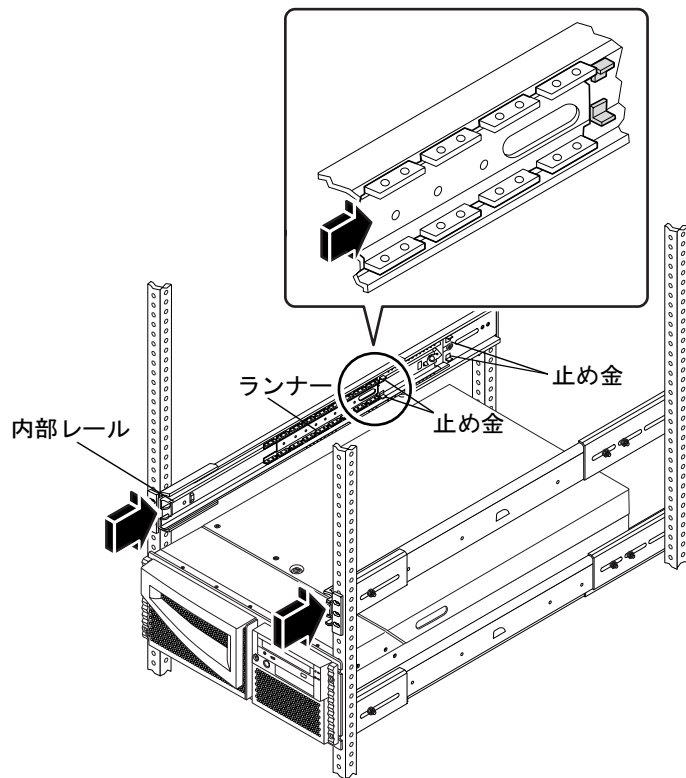
3. ラックマウント用のすべてのねじを完全に締めて固定します。
  - a. スライド部品の前後左右がすべて水平に調節されていることを確認します。
  - b. 取り付け用の 8 本の 10-32 ねじすべてを締め、ラックレールに固定します。
  - c. 8-32 ねじを 4 本使用して、スライド部品に長い取り付け金具を固定します。



---

## ラック格納装置へのサーバーの設置

1. 左右のスライド部品のランナーが、背面方向の止め金まで押し込められるかどうか確認します。後述の図を参照してください。
  - a. スライド部品の内部レールを、ラック背面方向の止め金に当たるまで押し込みます。
  - b. スライド部品内のランナーを、止め金に当たるまで押し込みます。



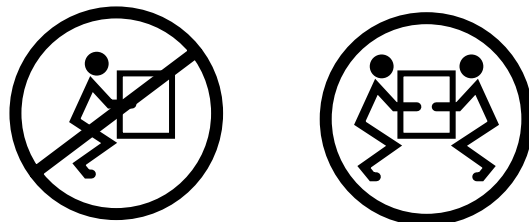
2. サーバーを持ち上げ (システムの側面に 1 名ずつ、計 2 名で作業します)、サーバーの背面側をラック格納装置正面側に向けます。



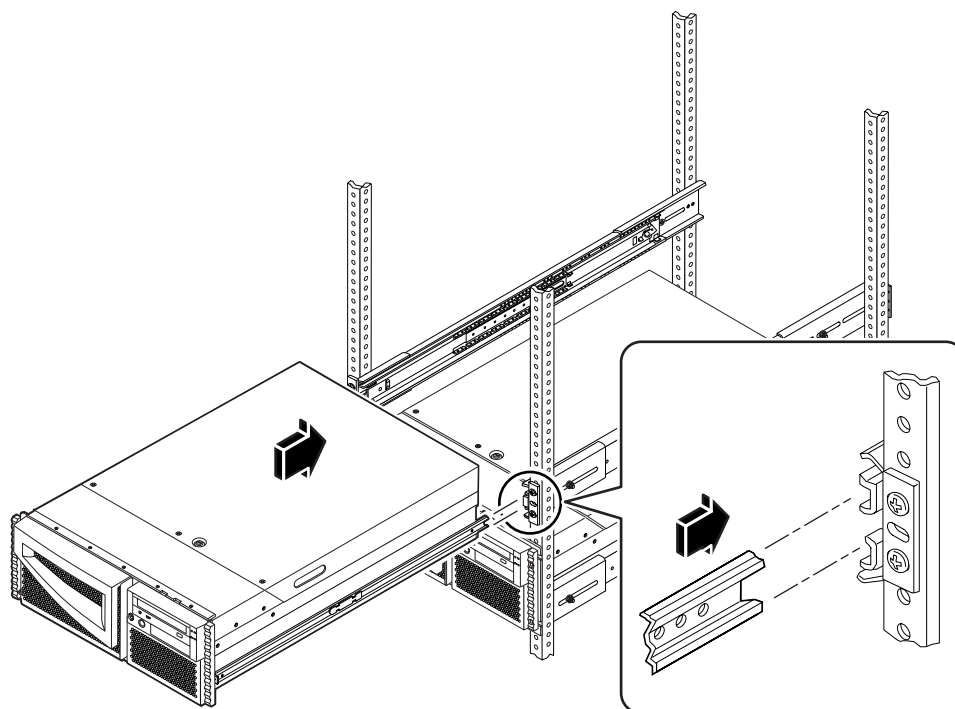
---

注意 - システムの重量の関係上、システムの移動は必ず 2 名で行ってください。

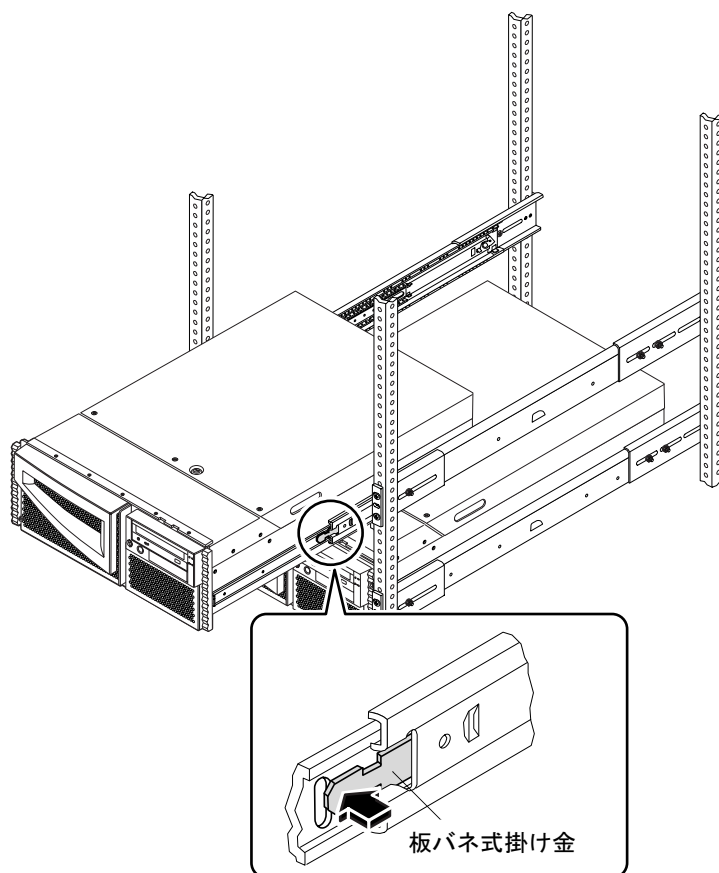
---



3. サーバーとラック格納装置のスライド部品の溝を合わせます。

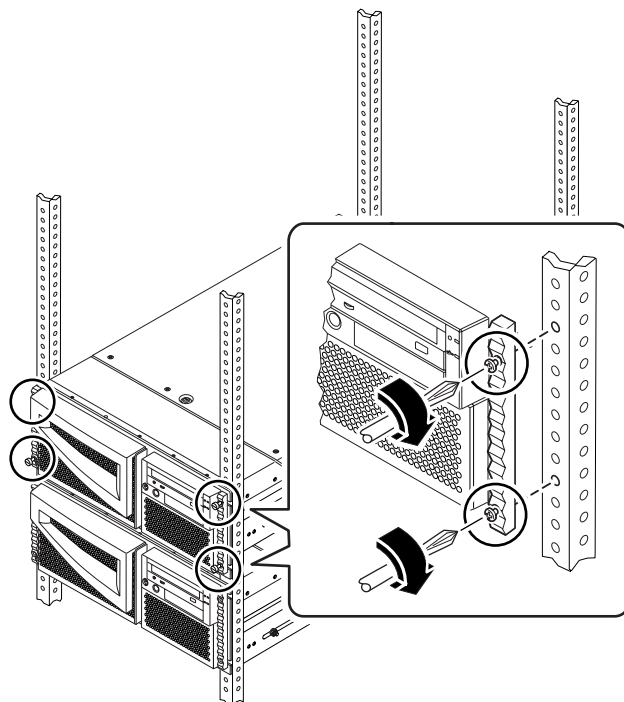


- 溝に沿ってサーバーをラック格納装置に滑り込ませ、止まる位置まで押し込みます。
- シャーシの両側で、サーバーの側の溝に付いている板バネ式の掛け金を押し込み、さらにサーバーを格納装置の奥まで押し込みます。



6. シャーシをラック正面の左右の取り付けレールに固定します。

プラスのドライバー (Phillips の 2 番) を使用して、4 本の専用ねじでシステムをラック格納装置に固定します。このねじを、システム正面パネルの両端の穴に通して、ラックにサーバーを固定します。下図を参照してください。



---

注 - この章の設置作業のためにラック格納装置の側面パネルを外した場合は、第 3 章の作業が完了するまで外したままにしておいてください。

---

## 次の作業

この章の設置作業が完了したら第 3 章に進み、背面パネルへの電源ケーブルの接続、システムの電源投入、オペレーティングシステムのインストールを実行します。



## 第3章

# システムの設定

---

この章ではサーバーの起動および動作に必要な電源コードなどのすべてのケーブル類の接続方法を解説します。ソフトウェアに関する設定事項は解説を簡略してあるので、詳細については該当のソフトウェアマニュアルを個別に参照してください。

以下の手順を守り、システムを設定してください。

- 22 ページの「電源コードの接続」
- 25 ページの「Ethernet ケーブルの接続」
- 26 ページの「オプションの設置」
- 26 ページの「システムコンソールの設置」
- 29 ページの「ラック格納装置の復元」
- 30 ページの「システムの電源投入」
- 33 ページの「オペレーティングシステムのインストール」
- 33 ページの「オンラインマニュアルの参照」

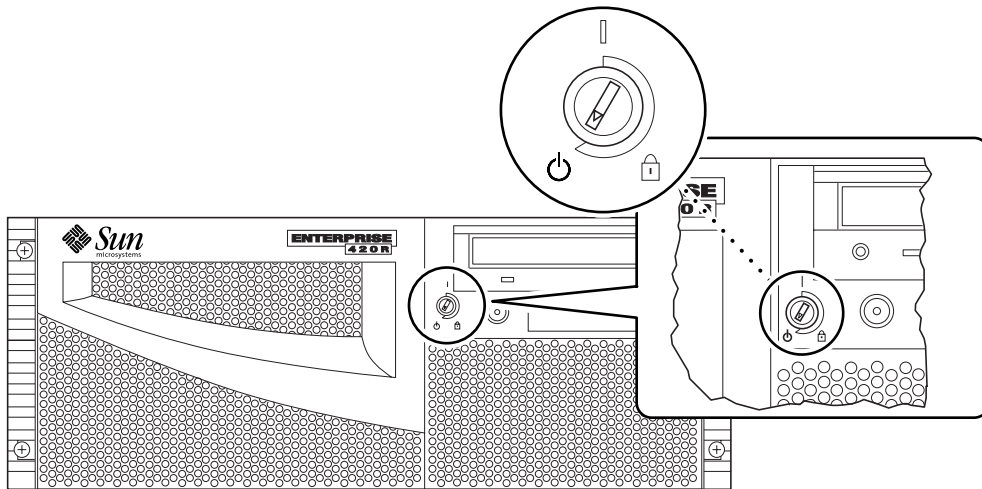
電源の切断が必要な際には、次のマニュアルを参照してください。

- 『Sun Enterprise 420R Server オーナーマニュアル』

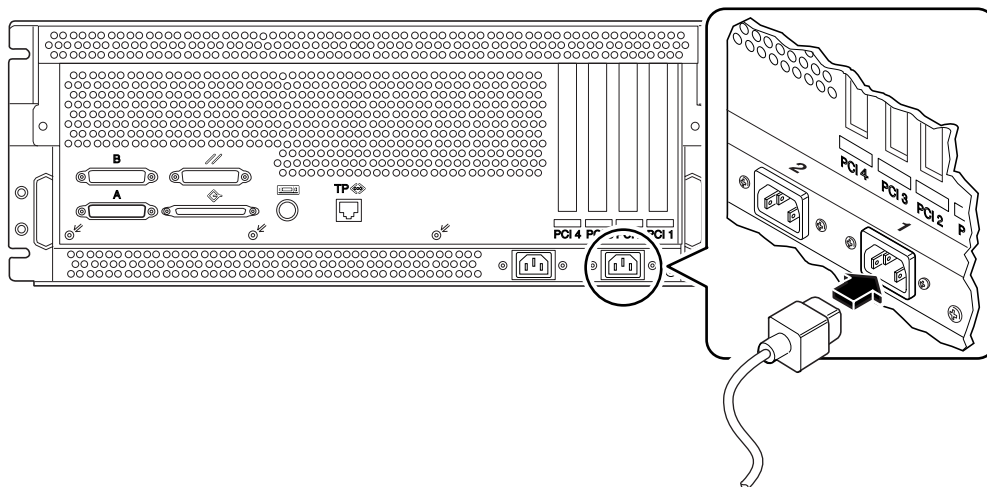
---

## 電源コードの接続

1. 正面パネルのキースイッチをスタンバイの位置に入れます。



2. AC 電源コードを、システム背面の右側の 1 番の電源挿入口に接続します。



3. AC 電源コードのもう一方の端を、ラック格納装置の電源シーケンサまたは設置場所の電源コンセントに接続します。

電源シーケンサについての詳細は、各ラック格納装置に付属のマニュアルを個別に参照してください。システムを接続する電源コンセントには、日本および北米では 15A 回路、ヨーロッパでは 10A 回路のものを使用する必要があります。

---

注 - 予備電源の装備されたシステムの場合は、2 本目の AC 電源コードを左側の 2 番の電源挿入口に接続します。予備電源は、主電源と同じ AC 回路に接続することも可能ですが、システムの冗長性が高い場合は、それぞれ独立した回路を装備した 2 つの電源に接続してください。

---

---

注 - このシステムは IT Power System との併用に対応しています。

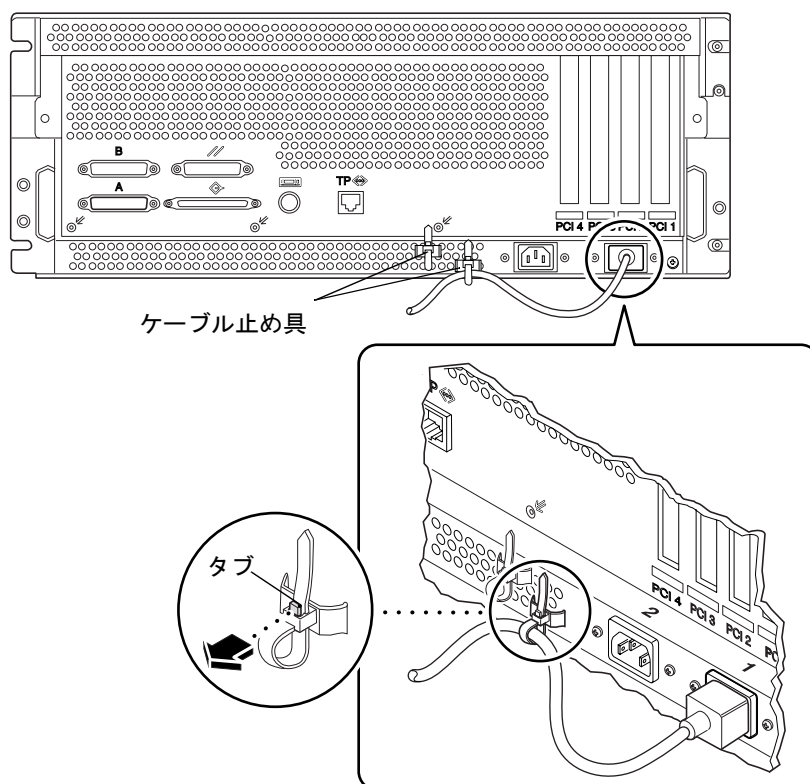
---

4. 電源コードを背面パネルに、ケーブル止め具 (strain relief) を使って縛り付けます。

Sun Enterprise 420R サーバーはプラスチック製のケーブル止め具を 2 個、背面パネルに装着した状態で出荷しています。電源コードをこの止め具で巻いてシステムに固定しておくと、ラック格納装置内でシステムをスライドする際に生じるケーブルの破損を防ぐことができます。

電源コードを止め具に巻き付けるには、止め具のひもでコードを巻き、ひもの先端を止め具の台の上部にある穴に通し、そのまま先端を引いて締め付けます。

止め具をほどいて電源コードを取り外すには、ケーブル止め具の台に付いているタブを押し込み、止め具をゆるめます。

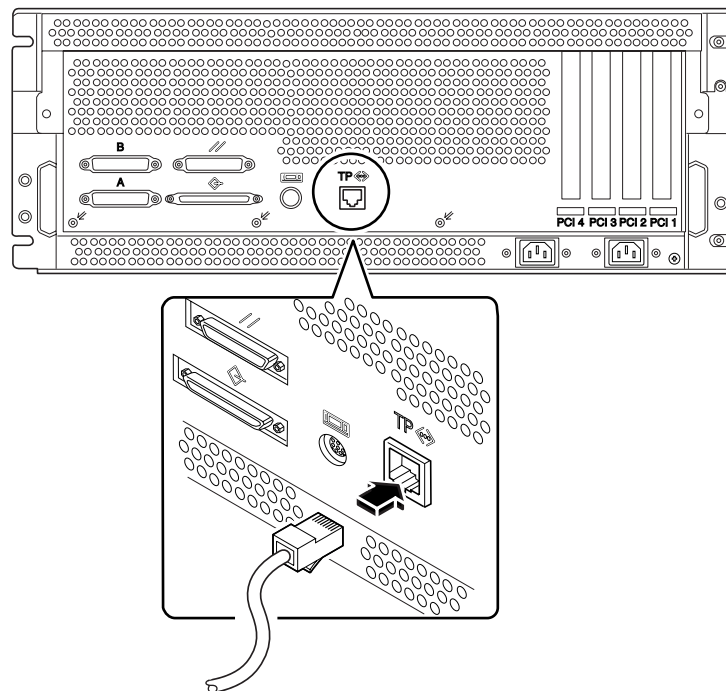


---

## Ethernet ケーブルの接続

10BASE-T Ethernet (TPE) ケーブルをシステム背面の標準 Ethernet ポートに接続します。

1. TPE ケーブルをシステム背面パネルの RJ-45 コネクタに接続します。



2. ケーブルの反対側の端をシステム設置場所の TPE 供給口に接続します。

---

## オプションの設置

システムの注文時に指定したオプションの多くは、予め設置した状態で出荷しています。その他のオプションの設置方法については『Sun Enterprise 420R Server Service Manual』を参照するか、購入先にお問い合わせください。内蔵ディスクドライブの増設方法についての詳細は『Sun Enterprise 420R Server オーナーマニュアル』を参照してください。

---

## システムコンソールの設置

サーバーソフトウェアのインストールやエラー診断の際には、システムコマンドを入力してシステム出力を調べる必要があります。以下のいずれかの方法を用いてください。

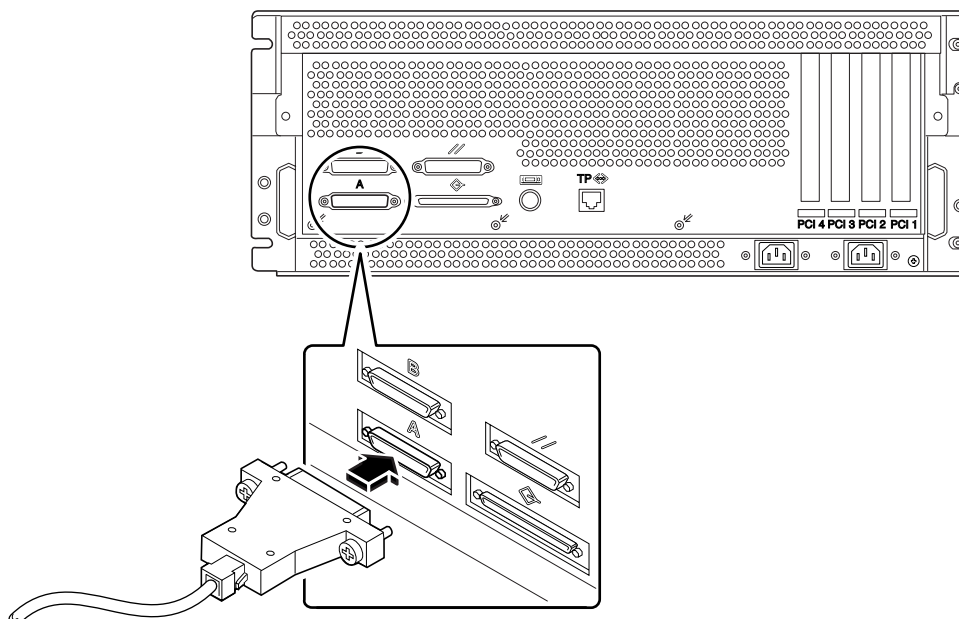
- 他の Sun システムから tip 接続を発行する。
- シリアルポート A に ASCII 端末を接続する。
- サーバーにグラフィックカード、モニター、キーボードを接続する。これらの機器はサーバーには付属していません。

### tip 接続の設定方法

tip 接続の発行方法については『Sun Enterprise 420R Server オーナーマニュアル』を参照してください。

## ASCII 端末の接続方法

1. 端末のデータケーブルを、サーバーの背面パネルのシリアルポート A に接続します。

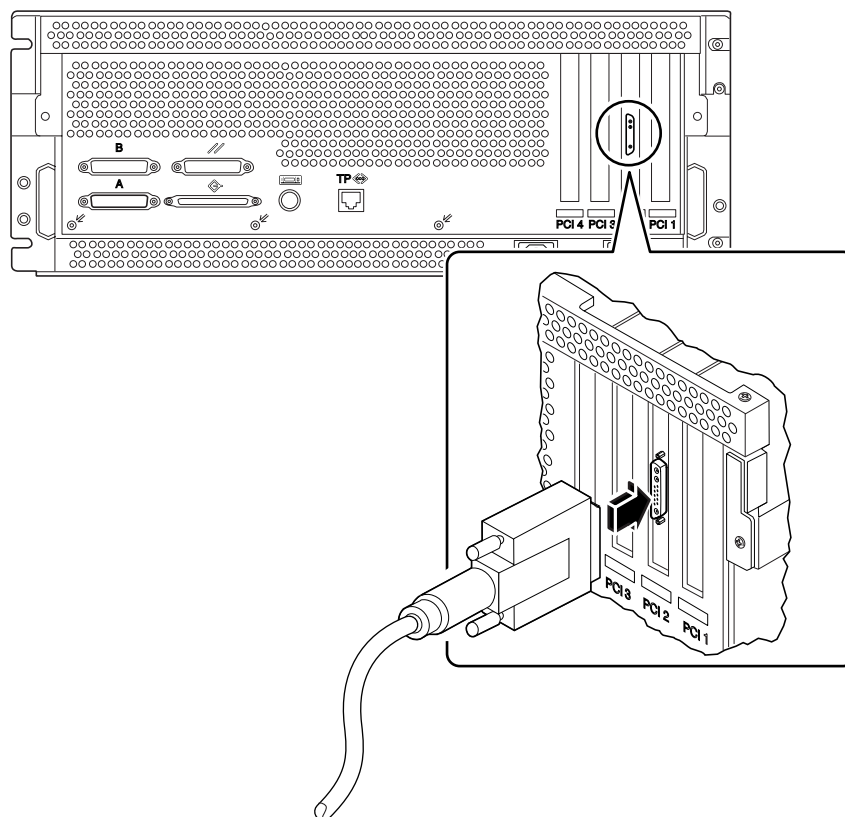


2. 端末の電源コードを、アースされた AC 電源コンセントに接続します。
3. 端末の受信設定を以下のようにします。
  - 通信速度 9600 ボー
  - パリティなしでストップビット 1 個の、8 ビット信号

## グラフィックコンソールの設置

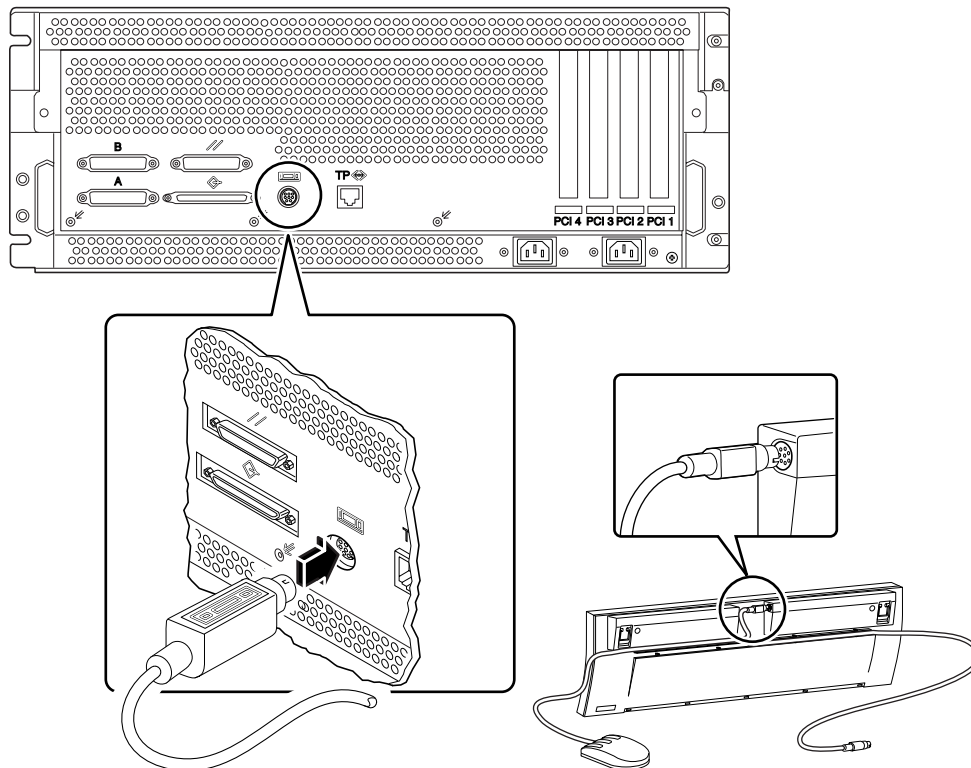
グラフィックコンソールをローカルに設置する場合は、PCI ベースのグラフィックカード、モニター、Sun 互換のキーボード、マウス、マウスパッドが必要です。これらの機器はシステムには付属していません。詳細については『Sun Enterprise 420R Server オーナーマニュアル』を参照してください。

1. 空いている PCI スロットにグラフィックカードを設置します。  
『Sun Enterprise 420R Server Service Manual』を参照するか、購入先にお問い合わせください。
2. モニターのビデオケーブルを、グラフィックカードのビデオポートに接続します。  
つまみねじを締めて固定します。
3. モニターの電源コードを、アースされた AC 電源コンセントに接続します。





4. キーボードにマウスを接続します。
5. システムにキーボードを接続します。



---

## ラック格納装置の復元

復元作業についての詳細は、各ラック格納装置に付属のマニュアルを個別に参照してください。

1. ラックキャビネット内のケーブル類の配置を整えます。
2. 転倒防止脚を伸ばしていた場合は、戻します。
3. 側面パネルを外していた場合は、付け戻します。
4. 必要であれば、正面側および背面側のドアを取り付けます。

---

## システムの電源投入

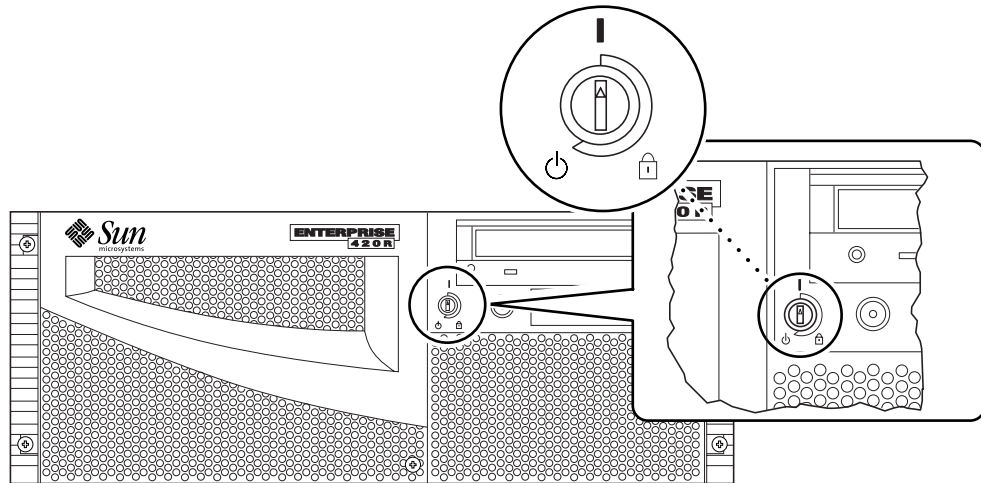


**注意** – 電源の投入されているシステムは決して移動しないでください。移動によりディスクドライブに致命的な損傷が生じることがあります。システムの移動が必要な場合には、必ず電源を切断してから作業してください。

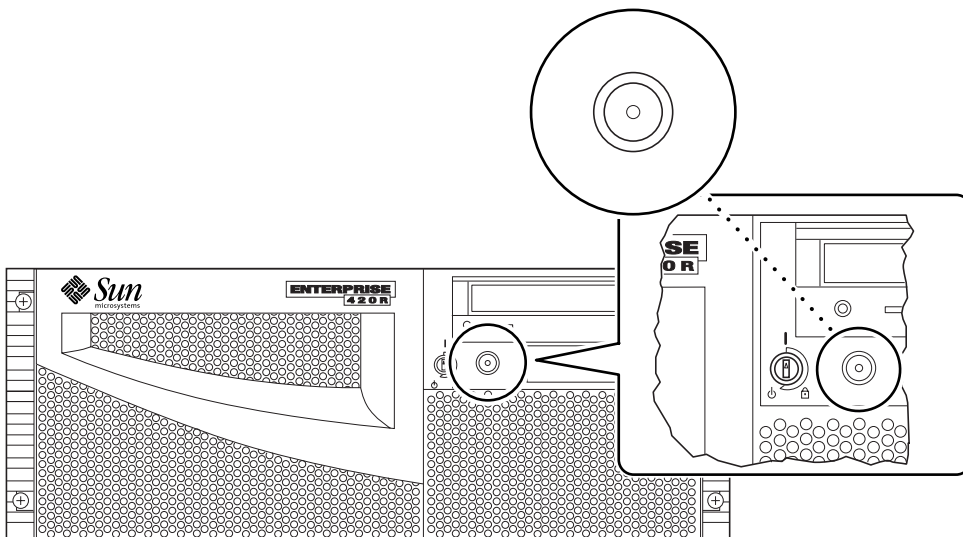


**注意** – システムに電源を投入する前に、システムカバーが正しく取り付けられていることを確認してください。

1. すべての周辺機器および外付け記憶装置に電源を投入します。
2. 必要な場合は、モニターや端末に電源を投入します。
3. 正面パネルのキースイッチを電源投入/切断の位置に入れます。



4. 正面パネルの電源ボタンを 1 回押します。



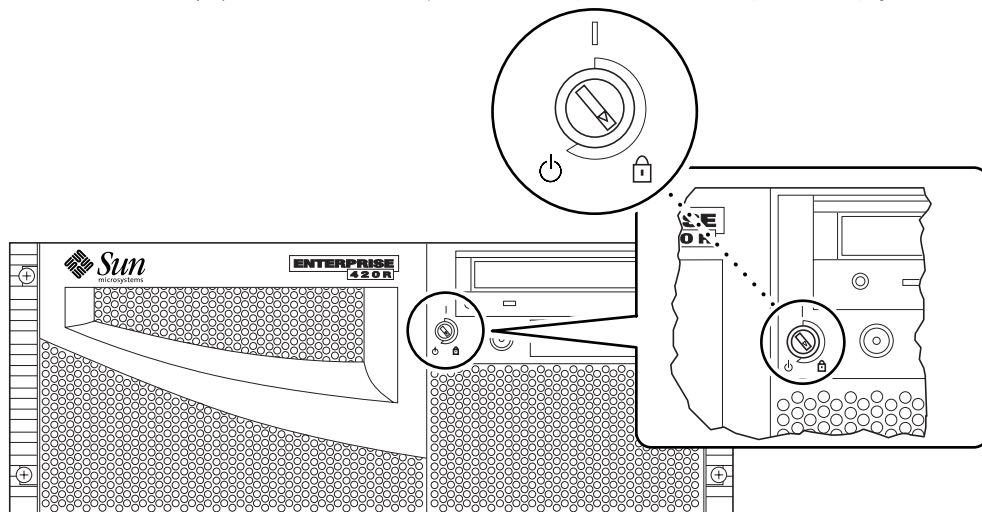
---

注 - システムモニターに画像が表示される、あるいは接続した端末に OK プロンプトが表示されるまでには、30 秒から 2 分ほど時間がかかります。この時間の長さは、電源投入時の自己診断 (POST、power-on self-test) のレベルに依存します。

---

5. キースイッチを回してロックの位置に入れます。

このロックの位置に入れておくと、誤った電源切断の発生を予防できます。



---

注 - 電源の切断手順の詳細は『Sun Enterprise 420R Server オーナーマニュアル』を参照してください。

---

---

## オペレーティングシステムのインストール

Solaris 7 以降のバージョンのオペレーティング環境をインストールする場合は、Solaris™ のソフトウェアに付属のマニュアルおよび『Sun Enterprise 420R Server オーナーマニュアル』に記述されているインストールに関する解説を参照してください。

**Solaris 2.6 Hardware 5/98** オペレーティング環境をインストールする場合は、システムに付属の **Operating Environment Installation CD** を使ってインストールしてください。この CD は、CPU 速度 450 MHz のマシン上での動作に対応したバージョンの Solaris 用に、ソフトウェアのアップグレードパッチをインストールします。

この CD には Solaris のソフトウェア本体は収録されていません。Solaris ソフトウェア本体のインストールには **Solaris 2.6 Hardware 5/98** オペレーティング環境用のメディアキットが必要です。Operating Environment Installation CD を使用すると、インストールの過程で Solaris ソフトウェアのインストールを促してきます。

Solaris 7 以降のバージョンをオペレーティング環境に使用する場合は、この CD は必要ありません。

インストール作業の詳細は、Operating Environment Installation CD に付属のマニュアルを参照してください。

インストールの解説は、Solaris ソフトウェアに付属のマニュアル、および『Sun Enterprise 420R Server オーナーマニュアル』も参照してください。

---

## オンラインマニュアルの参照

マニュアルキットには、システムの使用・修理・保守などの解説を記載したオンラインマニュアルを収録した CD-ROM が含まれています。詳細については、この CD-ROM に付属のマニュアルを参照してください。



## 付録A

# ラック格納装置の必要条件

このサーバーは Sun の 72 インチ (184 cm) 拡張キャビネット、または以下の表に記載した必要条件を満たす、EIA 工業規格準拠のラック格納装置に設置可能な設計になっています。サーバーのラックマウントには 1 台につきそれぞれ、Sun のラックマウントキットが必要です。

項目	必要条件
耐荷重容量	Sun Enterprise 420R サーバー本体の重量 (34 kg、75 ポンド) に加え、ラックマウント用ハードウェアおよびその他すべての付属装置を含む重量に、確実に耐えられること。
縦方向のスペース	サーバー 1 台につき縦方向に 4 U (17.78 cm、7 インチ) 分のスペースが必要です。72 インチ (183 cm) キャビネット 1 台には、最大 7 台までのサーバーを設置できません。
通気	40° C、3,048 m (10,000 フィート) の環境で、システム 1 台あたり 113 cfm (立方フィート/分) の通風量が必要です。この通風量は 40° C、海拔 0 m の環境に換算した場合の 73 cfm、あるいは 328 lb/hr (ポンド/時) と等価です。  適正な通気状態を保つためには、ラック格納装置に設置したシステム 1 台につき最低でも、気流の入口を正面側に 181 平方 cm (28 平方インチ)、排出口を背面側に 148 平方 cm (23 平方インチ)、それぞれ確保しておく必要があります。正面および背面のドアと各システムの間は、それぞれ 3.8 cm (1.5 インチ) 以上離しておく必要があります。

項目	必要条件
垂直方向の取り付けレール	<p data-bbox="673 388 1346 493">取り付け穴の間隔が <b>EIA (RETMA)</b> の規格に準拠した取り付けレールを、<b>2 組</b> (正面と背面に <b>1 組</b>づつ) 装備していること。</p> <p data-bbox="673 525 1346 630">左右のレールの間隔 (一方の取り付け穴の中心から反対側の取り付け穴の中心までの距離) は、正面側・背面側共に <b>46.5 cm (18.3 インチ)</b> とします。</p> <p data-bbox="673 661 1346 766">正面と背面のレールの間隔 (一方のレールの外側の面から反対側のレールの外側の面までの距離) は、<b>68.26 cm (26.875 インチ)</b> から <b>88.5 cm (34.875 インチ)</b> の間とします。</p> <p data-bbox="673 798 1346 871">正面側と背面側のレールの取り付け面は互いに平行である必要があります。</p>
ドアとパネル	<p data-bbox="673 882 1346 1018"><b>Sun</b> の拡張キャビネットは、正面側のドアと側面パネルを取り外せる設計になっており、システムの取り付けや保守の作業負荷を軽減できます。その他の格納装置については、各製品に付属のマニュアルを参照してください。</p>
電磁干渉 (EMI) の遮蔽	<p data-bbox="673 1029 1346 1165">ユニットをラックマウントした状態でも、システムシャーシと金属製の側面パネルが電磁干渉 (EMI、<b>Electromagnetic interference</b>) に対する遮蔽性を十分に満たすものを使用してください。</p>
転倒防止対策	<p data-bbox="673 1176 1346 1354">ラックはボルトで床に固定できるものか、または転倒防止脚を装備したものを使用して、十分な安定性を確保する必要があります。ラックからシステムなどの機器を前方に引き出した時に、キャビネットが前傾・転倒しないように予防してください。</p>
保守・設置作業用スペースの最低基準	<p data-bbox="673 1365 1346 1470">ラックの正面側には設置および保守作業のため、最低でも奥行き <b>1 m (3 フィート)</b>、幅 <b>2 m (6 フィート)</b> のスペースを確保しておく必要があります。</p> <p data-bbox="673 1501 1346 1606">取り付けレールのスライド部品を最大まで引き出すと、ラック正面側の垂直取り付けレールより、<b>75.6 cm (29.75 インチ)</b> 前まで出ます。</p>
耐火性	<p data-bbox="673 1617 1346 1682"><b>Underwriters Laboratories, Inc.</b> および北米 <b>TUV Rheinland</b> の耐火規準を満たしたものを使用してください。</p>